

**製品名: NPY5-R ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14862**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NPY5R
別名	NPY5R; NPYR5; Neuropeptide Y receptor type 5; NPY5-R; NPY-Y5 receptor; NPY5-R; Y5 receptor
遺伝子 ID	4889.0
SwissProt ID	Q15761
免疫原	抗血清はヒト NPY5R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

**背景**

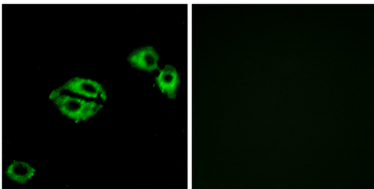
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、神経ペプチド Y およびペプチド YY の受容体です。このタンパク質は摂食調節に関与

していると考えられており、この遺伝子の欠陥は摂食障害と関連しています。また、このタンパク質は神経芽腫細胞を化学療法誘発性細胞死から保護する経路にも関与しており、神経芽腫に対する治療標的となる可能性があります。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015年11月]、機能: 神経ペプチドYおよびペプチドYYの受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性を阻害するGタンパク質によって媒介されます。摂食障害に関連している可能性があります。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属する。組織特異性: 脳、視床下部。

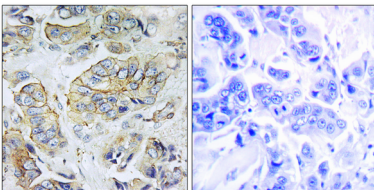
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

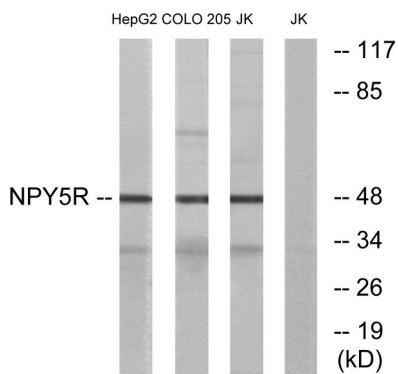
## 画像データ



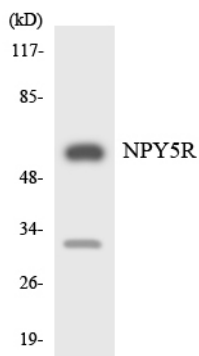
NPY5R抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



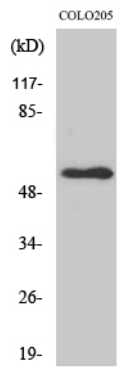
NPY5R抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



NPY5R抗体を用いたCOLO細胞、Jurkat細胞、HepG2細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NPY5R抗体を使用したJurkat細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NPY5-R ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析